

ハエ駆除対策を徹底しましょう！

ハエの気になる季節がやってきます。特に温度と湿度が同時に上昇する時期はハエの活動が活発になり、一時的にハエが大量発生する場合があります。ハエの発生は放置すると経営に影響を与えかねません。敵を知り、適切な駆除対策を徹底し、ハエをとことんノックアウトしましょう。

1・ハエが畜産経営に与える影響

- ① 家畜に対して様々なストレスを与え、生産性を低下させます。
- ② 伝染性疾病の媒介者になる可能性があります。
- ③ 大量発生すると、近隣からの苦情の原因となります。

2・ハエの生活環



- ・ハエは卵からたった8日～15日で成虫になります。
- ・成虫になると5日で産卵を開始し、1回で50～100個の産卵をします。

3・ハエ駆除対策3つのポイント

OPoint 1 発生源対策 (産卵させない・孵化させない こと)

ハエは溜まったままの家畜の糞や、飼料の残さなどに好んで産卵します。そこで次の対策が重要になります。

- ☞こまめに除糞する
- ☞こぼれた飼料の掃除をする。置いてある飼料に蓋や覆いをする
- ☞除去した糞や飼料は速やかに堆肥化や乾燥など適切に処理をする。

ハエの卵は、温度40℃以上で孵化以前に死亡し、水分50%以下で孵化率が激減します

OPoint 2 幼虫対策 (成虫にさせない こと)

幼虫を成虫にさせないためには薬剤の散布による対策が有効です

- ☞幼虫が発生しやすい糞がたまるような場所で、糞の上に昆虫発育抑制剤(IGR剤)を散布する。
- ☞1か月に1回の散布が有効です。

IGR剤には次のような種類があります。特徴を理解し農場に適した薬剤を使用しましょう。

(裏面に続く)

製剤名 (商品名)	カーバメイト剤 (ボルホ散) (サンマコー)	有機リン剤 (トヨダン) (ネグホン)	脱皮阻害剤 (ネボレックス) (デミリン) 等	オルソ剤 (ネクハザール) (タハザール) 等
ここが○	即効性で効果高い	即効性で効果高い	効果が高い 散布しやすい 家畜に安全	安価 取り扱いが簡単
ここに 注意	残効性がない 人に毒性がある	耐性ができやすい 家畜・人に毒性がある		臭いが強い
使用方法	粉末のまま散布	水に希釈して散布		

○Point 3 成虫対策 (徹底的にノックアウト)

成虫対策にも薬剤を用いるのが有効です。薬剤に添付される説明書の用法・用量を守り、適切に使用しましょう。

- ☞ ハエが畜舎に入る夕方～翌朝、雨天時が有効です。
- ☞ 空間噴霧以外にも毒餌法(POB 法)や塗布法もあります。組み合わせて使いましょう。
- ☞ 同じ薬剤を長期間使用すると、ハエが耐性を獲得してしまいます。長期に使用する場合には、記録を付け、薬剤をローテーションさせましょう。
成虫用殺虫剤には次のような種類があります。

製剤名 (商品名)	ピレスロイド剤 (バイオフライ) (ETB) 等	有機リン剤 (アルファクロン)	その他 (スミスリン乳剤) (スパレン乳剤) (ノックバイト) ^{※1} (アジタ) ^{※1}
ここが○	即効性がある	残効性がある	効果が高い 散布・設置しやすい 家畜に安全
ここに 注意	残効性がない	家畜・人に毒性がある 耐性ができやすい	
使用方法	水に希釈し虫体 に噴霧	水に希釈、毒餌 に使用	水に希釈し噴霧 ※1 は設置又は塗布

3つのポイントを押さえて、ハエ害とは無縁の畜産経営を目指しましょう。
ご不明な点等ありましたら家畜保健衛生所までお問合せください。

神奈川県県央家畜保健衛生所

〒243-0417 海老名市本郷3658

電話：(046)238-9111 ファクシミリ：(046)238-9124

東部出張所 〒226-0015 横浜市緑区三保町2076

電話：(045)934-2378 ファクシミリ：(045)934-5432